

平成18年度 事業報告書

平成18年10月17日から平成19年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成21年度の薬学共用試験本実施に向けた環境整備として、CBTに関しては、各種関連ソフトを開発し、全国の薬系大学教員により作成した候補問題を出題して、全国の薬系大学にて3年生総勢4,555人が参加したトライアルを実施した。これにより、開発中のソフトの問題点や運用面での改善点等が明らかになり、また、作成した個々の出題候補問題の妥当性や難易度を検証することができ、大きな成果が得られた。一方、OSCEに関しては、20大学にて独自にトライアルが実施されたが、それらの経験を共有すべくOSCE担当教員が一同に会し、全国レベルでの統一された基本的な考え方や課題、評価方針や方法について協議した。全国共通の理念に則ったOSCE実施に向けての基盤が出来上がったと考えらえる。

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	各薬系大学にてCBTトライアル実施に必要な種々の準備事項の概略説明の目的で、CBTトライアルに向けての説明会を開催した	平成18年10月25日、26日	共立薬科大学及び京都薬科大学	15人	全国薬系大学の教員(約100名)	333
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBTミニトライアルを全国の8カ所で開催し、小スケールでのCBT模擬実施を体験し、ソフトウェア使用法の習得の場とした。	平成18年11月29日～12月9日の8日	熊本大学ほか計8大学にて	7人	全国薬系大学の教員(約200名)	509
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第1回OSCE実施委員会を開催し、全国のOSCE担当者によるOSCE実施体制作りについて協議した。	平成18年12月28日	共立薬科大学	11人	全国薬系大学の教員(約80名)	423
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	全国の薬学生(3年生)の約半数(4,555人)が受験生として参加した本番スケールに近いCBTトライアル(延べ71回)。	平成19年1月29日～2月23日	東京薬科大学ほか全国49薬系大学50学部	90人	全国薬系大学の教員(約150名)及び薬学生(4,555名)	2,300

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
無					